歷史

文禄2年(1593年)加賀藩初代藩主前田利家が陣中より国元へ金 箔・銀箔の製造を命じていることから、それ以前に既に製造されていたと 堆測される。その後、加賀藩の美術工芸振興策により、箔の製造が奨 励された。

元禄9年(1696年)江戸幕府は江戸・京都以外で箔の製造を禁止 するが、藩の庇護の下、密かに製造が続けられ、元治元年(1864年)藩 の御用箔の製造が許可されると、金沢箔は質・量ともに大きく発展した。



藩政の崩壊により、箔の統 制がなくなり、その保護下に あった江戸箔に代わって、金 沢箔が品質の良さで市場を 独占するようになり、現在で は、全国生産の99%以上を 占めている。

特色

金箔づくりには、純金に微量の銀、銅を加えた合金が使われる。この 合金のもつ輝きを失わせることなく1万分の1ミリ程度の厚さ(10円硬貨 大のものを畳4、5枚の広さ)まで均一に広げる。このような職人の技術 と製箔に適した気候、水質等にめぐまれたため、金沢箔の製造が他の 追随を許さないものとなった。箔打ち機の機械化をのぞけば、江戸時代 の伝統技術を残している。製箔に欠かせない箔打紙は、粘土を混ぜた

手漉和紙を灰汁、柿渋、卵に浸し、1ケ月 かけて仕込むもので、紙質の良否が製品 に大きく左右する。

箔は、工芸材料として仏壇・仏具、水引 や西陣織など金銀糸、漆器の沈金や蒔 絵、陶磁器の絵付けに使われるほか、屏 風、襖紙、製薬材料、化粧品等多方面に わたって活用されている。





In the late 16th century, the production of gold leaf was promoted in accordance with the arts and crafts promotion policy of the lord of the Kaga clan. Although production of gold leaf was prohibited by the Edo Shogunate except specified areas, production of metal leaves continued in Kanazawa under the protection of the lord of the Kaga clan. After the lifting of the prohibition of production in 1864, Kanazawa gold leaf developed greatly in quality and quantity.

A piece of gold alloy the size of a coin is pounded and spread into a leaf measuring 7 m, and with a thickness of 0.1micron. The traditional technique used has been handed down over the generations. Now Kanazawa boasts 99% of the total production of Japanese metal leaves. Metal leaves have long been used to decorate craft items such as Buddhist altars, and lacquer and ceramic wares. and they are now also used as ingredients for medicines and cosmetics.

● 情報 INFORMATION

主な生産地 金沢市(Kanazawa City)

主な製品名

金箔、銀箔、洋箔、金箔工芸(Gold leaf, silver leaf, metal leaf, gold leaf crafts)

主な生産者

石川県箔商工業協同組合

(Cooperative Association for the Leaf Trade and Industry of Ishikawa Prefecture) 〒920-3122 金沢市福久町ロ172 TEL (076)257-5572 FAX (076)257-5583